

登山関連ニュース 2026年4月2日

現在の登山シーズンにおいて、特に注意すべき情報を以下の通りまとめました。融雪期特有の危険（雪崩、踏み抜き）や、冬眠明けのクマの活動活発化が顕著に見られます。

重要度	項目	内容・影響
最優先	谷川岳 登山禁止規制	融雪期による雪崩の危険が高まっているため、一ノ倉沢、マチガ沢、幽ノ沢、南面の危険地区が4月24日まで登山禁止となっています。一般登山道（天神尾根等）は通行可能ですが、12本爪アイゼン・ピッケル等の完全雪山装備が必須です。[1]
高	クマ出没注意報（東北・各地）	青森県が4月1日から「ツキノワグマ出没注意報」を発表したほか、福島県南会津町や秋田市、山梨県身延町でも本日、住宅街や河川敷での目撃が相次いでいます。冬眠明けで活動が活発化しており、低山でも警戒が必要です。[2][3][4][5]
高	霧島連山・硫黄山 通行規制	えびの高原周辺の県道1号線において、火山ガス濃度や路面状況に応じた通行規制が継続中です。4月4日・5日の週末は、9時～17時の時間帯に限り屋根付き自動車のみ通行可能となる予定です。[6]
中	各地の冬季閉鎖・運休情報	谷川岳ロープウェイが4月6日から17日までメンテナンス運休に入るほか、函館山や月山など、依然として多くの登山道やアクセス道路が冬季閉鎖中または規制解除待ちの状態にあります。[1][7][8]
中	地震・火山活動	本日午前、インドネシア付近でM7.4の地震が発生しました。日本の沿岸でも若干の海面変動の可能性がありますが、登山活動への直接的な被害の心配はありません。火山活動は硫黄山等のガス濃度に注意が必要です。[9][6]

登山者へのアドバイス

- 1 融雪期の危険を軽視しない: 標高の高い山では雪解けが進み、一見歩きやすそうに見えても、大規模な雪崩や「踏み抜き」による怪我のリスクが非常に高まっています。最新の積雪情報を確認し、適切な装備（アイゼン、ピッケル、ワカン等）を携行してください。

- 2 **クマ対策の徹底:** 冬眠から覚めたばかりのクマは空腹で活動範囲が広がっています。単独行を避け、熊鈴やラジオで自分の存在を知らせる、クマの糞や足跡を見つけたら引き返すなどの対策を徹底してください。
- 3 **アクセス情報の事前確認:** 4月は冬季閉鎖の解除時期が山域によって異なります。また、ロープウェイのメンテナンス運休なども重なる時期ですので、計画段階で最新の交通・施設情報を必ずチェックしてください。

安全な登山をお楽しみください。